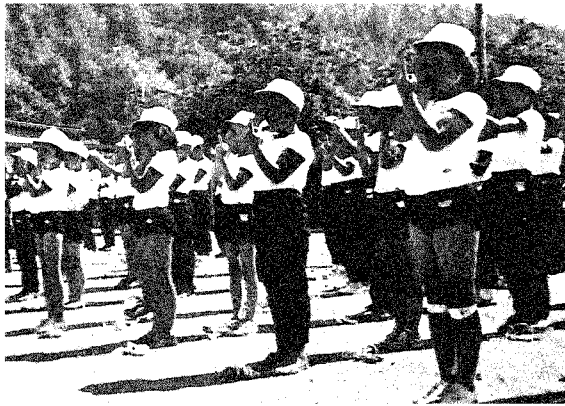


# 健康優良校の横顔……宝小学校



宝小学校では、児童の健康増進を図るためユニークな活動を進めてきました。その成果が認められ次の団体から表彰されました。

- 昭和六十年十一月二十二日 山梨県医師会（学校保健推進優良校）
- 昭和六十一年七月七日 朝日新聞社（健康優良校）
- 昭和六十二年二月二十九日 山梨県教育委員会（健康優良校）

健康優良校として表彰された宝小学校の活動を紹介します。

給食時間になると、「トンボのめがね」の曲が校内に流

れ、目の体操の始まりを告げる。全校児童二三人は一斉に席を立ち、窓側を向いて整列。曲が「こがねむし」に変わると瞳を上下、左右にクルクルと動かす。そして次が「旅愁」のメロディー。遠方凝視訓練で、窓から緑豊かな山の風景をしばらく眺める。宝小

は、学校全体が自然を利用した視力検査室のようだ。わずか三分間の短い体操だが、眼球を調整する網様体筋を動かすので、目の疲れがとれ、視力の回復につながるという。

同校で、視力一・〇未満の児童の占める比率は、五十八年

一七%、五十九年二七%、六十年三七%と増加傾向にあった。それが、今年初めて三三%と、減少に転じた。

六月から十月まで、全校児童が校内でのほだし生活を実践している。薄着や竹踏み、自宅での乾布摩擦なども励行。また、縄跳びは段位制を設けて、子供たちが腕を競い合う。一輪車も八割近くの子供が乗りこなす。

目の体操のため、学校から約二百メートル離れた山の中に設けたランドル視環は、教

師らの手造り。縦横八センチのブリキ板をトタンで包んでC字形に塗装。「子供たちのよく見える場所に」と、かなり危険な作業にもかかわらず、高さ十メートルの松の幹のてっぺん近くまでよじ登って、針金でくりつけた。

校庭には、父母らの協力によるジャンプ棒や昇降台、タイヤボールも豊富に設置されている。校長先生は最後に、「教師と父母の知恵の出し合いで、子供たちの健康増進策はいくらでも生まれてきます。」

## サラ金とは

サラ金の定義というものはなく、利用者の大半がサラリマンであることから「サラ金」（俗称）と呼ばれるようになりまし

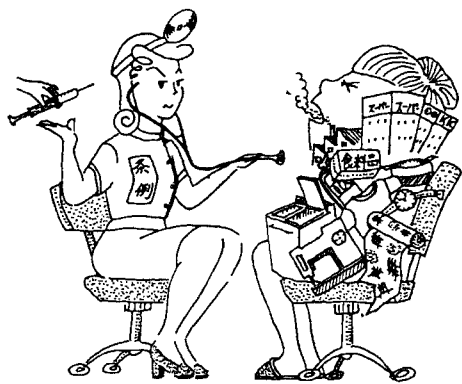
た。サラ金とは、さしづめ「庶民に対する小口かつ短期間の信用貸しを行う貸金業者」と

いうことになりました。簡易、迅速、無担保、無保証というサラ金の特性は、逆に「サラ金地獄」に一直線に落ち込む原因にもなります。

借りるのが自分なら返すのも自分です。借りる場合は、利息も含めて返済できる確実

な収入見通しがあるかどうかをよく考え、慎重のうえにも慎重さが必要です。

また、一見、借りやすく便利なサラ金は、サラ金三悪といわれた高金利・過剰融資・強行取り立てが伴い、数々の悲劇を生みま



した。サラ金二

元金	10万円未満	年20%
元金	10万円以上100万円未満	年18%
元金	100万円以上	年15%